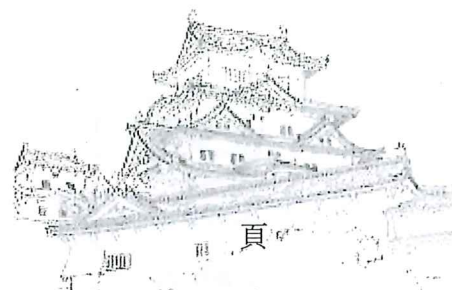


第66期 環境経営レポート



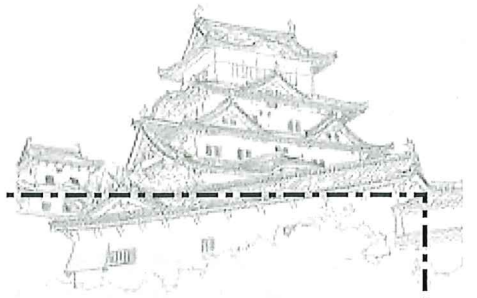
レポートの対象期間：第66期（2023年9月1日～2024年8月31日）
発 行 日：2024年10月25日第11版（第1版 第57期）

目 次



1 . 環境経営方針	1
2 . 会社概要	2
3 . 認証・登録の対象範囲	3
4 . 主な環境負荷の実績	4
5 . 環境経営目標及びその実績	5
6 . 環境経営活動計画及び取組結果とその評価、次年度の環境経営計画	7
7 . 環境関連法規等の遵守状況の評価の結果	9
8 . 代表者による全体の評価と見直	10
9 . 環境活動の紹介	11

1. 環境経営方針



品質・環境方針

1. 顧客の信頼と満足を得て地域に貢献します。
2. 品質活動を通じ、環境負荷の低減を図り、地球環境保全の取組を推進します。
3. 品質活動と環境活動の有効性の継続的改善を行っていきます。

品質・環境目標

1. 建築部は、創意工夫を行い現場に役立てると共に、環境にやさしい施工を行い、目標の利益を達成します。
2. 土木部は、無事故・無災害で顧客の信頼を得ると共に、軽油の使用を管理し二酸化炭素の削減を推進し、目標の利益を達成します。
3. 総務部は、顧客管理を確実にして、その動向を常に把握すると共に、電気の使用を管理し二酸化炭素の削減を推進していきます。
4. 環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。
5. 二酸化炭素排出量の削減を推進します。
6. 廃棄物の削減を推進します。
7. 建設現場等での建設リサイクル、再生資源の利用を推進します。
8. 水使用量の削減を推進します。
9. 化学物質の適正な管理を実施します。
10. 建設業協会主催の地域美化活動への参画を年1回行います。

本方針を全従業員に周知徹底します。

制定日： 2015年 5月 1日

改訂日： 2023年11月 1日

株式会社 ホリエ

代表取締役 堀江 一雄

2. 会社概要



創業 1953年3月1日

(1) 名称及び代表者名

商号 株式会社 ホリエ

代表取締役 堀江 一雄

(2) 所在地

本社 兵庫県姫路市野里上野町一丁目14番8号

姫路西事業所 兵庫県姫路市白鳥台三丁目7番8号

御国野資材倉庫 兵庫県姫路市御国野町国分寺178-3

(3) 環境管理責任者及び担当者の氏名と連絡先

責任者 常務取締役 堀江 脩 TEL: 079-223-7222

担当者 総務部 中川 路生 FAX: 079-282-0532

Email: kabhorie@nike.eonet.ne.jp

(4) 事業内容

土木工事業、建築工事業、とび・土工工事業、ほ装工事業、造園工事業

許可番号 兵庫県 特-2 第450648号 許可年月日 令和3年1月18日

許可期限 令和8年2月27日

1級建築設計事務所

登録番号 (一財)兵庫県1級建築士事務所協会 第01A02760号

登録年月日 平成30年9月30日

有効期限 平成35年9月29日

(5) 事業の規模

会社設立 昭和34年4月1日

資本金 2,080万円

売上高 第63期 (2020年9月1日～2021年8月31日) 808百万円

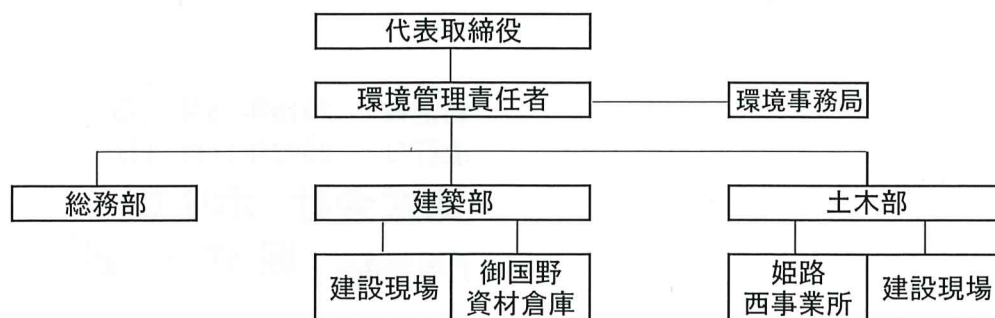
第64期 (2021年9月1日～2022年8月31日) 1,131百万円

第65期 (2022年9月1日～2023年8月31日) 1,324百万円

第66期 (2023年9月1日～2024年8月31日) 1,100百万円

各事業所の規模	本 社		御国野倉庫	土木部 姫路西事業所		合計
	本社社屋	本社倉庫		事務所	倉庫	
従業員	13名	無人	無人	19名		32名
延べ床面積	579㎡	232㎡	308㎡	85㎡	441㎡	1,645㎡
敷地面積	1,756㎡		1,165㎡	1,009㎡		3,930㎡

(6) エコアクション21の実施体制



(7) 事業年度

9月～翌年8月

3. 認証・登録の対象範囲



登録組織名： 株式会社ホリエ

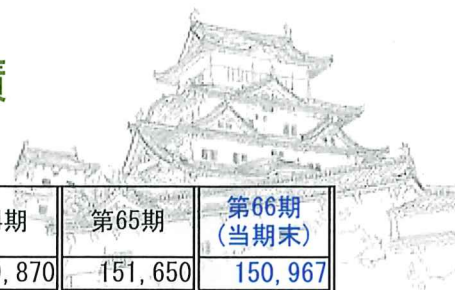
対象事業所： 本 社 ：兵庫県姫路市野里上野町一丁目14番8号

姫路西事業所 ：兵庫県姫路市白鳥台三丁目7番8号

御国野資材倉庫 ：兵庫県姫路市御国野町国分寺178-3

活 動： 土木工事業、建築工事業、とび・土工工事業、ほ装工事業、造園工事業

4. 主な環境負荷の実績



項 目	単位	第61期 (基準期)	第62期	第63期	第64期	第65期	第66期 (当期末)
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	178,619	153,522	149,545	179,870	151,650	150,967
電力	kWh	30,200	26,105	25,259	30,200	27,874	29,639
ガソリン	L	21,938	21,508	21,100	21,928	20,317	19,435
軽油	L	45,076	35,957	34,956	44,823	36,184	36,819
灯油	L	210	93	91	267	313	144
LPG	kg	281.7	230.1	187.4	21.9	24.2	33.9
廃棄物排出量							
一般廃棄物	kg	942	934	988	1,252	837	842
産業廃棄物	t	425	1,230	4,436	326	327	1,206
水使用量	m ³	158	233	217	239	170	164
排出に影響する出来事		今期から 本社と西 事業所の2 箇所での 評価を実 施	売上は前 期と大差 がなかつ たが、西 事業所の 割合が増 加	CO2の排 出量は目 標値とほ ぼ同じと なった が、事業 量増によ り次期は 注意が必 要である	軽油は、 売上げに 比して増 加してい る。産業 廃棄物 は、大幅 に減少し た。	灯油は、 本社ス トアの増 加による もの。	灯油とLPG は使用量 が少なく、 二酸化炭 素排出量 に占める 割合が、 小数点以 下のため 評価から 削除した。

5. 環境経営目標及びその実績



(1) 中期目標

※組織の変更・拡大によりCO2・電力・ガソリン・軽油は、基準年度を第64期とした。

項 目	年 度	第64期 (基準期)	第66期 (当期)	第67期	第68期	第69期	第70期
I. 二酸化炭素 排出量削減	目標kg-CO ₂	178,619	175,053	173,260	171,474	169,688	167,902
	対基準		△2%	△3.1%	△4.2%	△5.3%	△6.4%
電力使用量削減 0.311	目標kWh	30,200	29,596	29,294	28,992	28,690	28,388
	kg-CO ₂	9,392	9,204	9,110	9,017	8,923	8,829
	対基準		△2%	△3%	△4%	△5%	△6%
ガソリン 使用量削減 2.32166	目標 L	21,938	21,499	21,280	21,060	20,841	20,621
	kg-CO ₂	50,932	49,913	49,404	48,894	48,385	47,876
	対基準		△2%	△3%	△4%	△5%	△6%
軽油 使用量削減 2.62434	目標 L	45,076	44,177	43,724	43,273	42,822	42,371
	kg-CO ₂	118,295	115,935	114,746	113,563	112,380	111,197
	対基準		△2%	△3%	△4%	△5%	△6%
II. 廃棄物の削減							
※廃棄物・産業廃棄物の基準年度は、第61期としている。							
一般廃棄物 の削減	目標 kg	942	895	886	876	867	857
	対基準		△5%	△6%	△7%	△8%	△9%
産業廃棄物の 適正管理	実績 t	425	1,206	—	—	—	—
	対基準		適正管理	適正管理			
混合廃棄物の 削減	実績 t	71	26.52	—	—	—	—
	対基準		適正管理	適正管理			
建設リサイクル 率の向上（実績）	排出量 t	2,524	1,206	適正管理			
	リサイクル量 t	2,443	1,186	リサイクル率＝リサイクル量／排出量			
	リサイクル率%	96.8%	98.4%				
	対基準		90%以上	90%以上			
IV. 環境に配慮し た施工の推進	目標 件	下記による	下記による	下記による			
	対基準	4	4以上	4以上			
	実績値件		6	—	—	—	—
	評価			—	—	—	—

※ 電力の二酸化炭素量の削減は、関西電力㈱の電力排出係数を使用する。基準期は第64期(2021/8～2022/9)であるが、現時点では2022(令和4)年度の公表はされていない。よって、2021年度の0.311を使用する。また、今期66期の電力排出係数も0.311を使用する。

	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
電力排出係数	0.334	0.318	0.315	0.311	311.000		
kg-CO ₂ /kWh	2019/7/30発表	2021/1/7発表	2022/1/7発表	2023/1/24発表	2024/1/15発表	未発表	未発表

(2) 第66期の実績

※組織の変更・拡大により基準年度を第64期とした。

年 度 項 目		第66期の実績 (2023年9月～2024年8月)				
		第64期 基準年度	目標	実績	達成度	評価
I. 二酸化炭素 排出量削減	kg-CO ₂	178,619	175,053	150,967	116%	○
	対基準		△1.05%			
電力使用量 削減	目標kWh	30,200	29,596	29,639		
	kg-CO ₂	9,392	9,412	9,425	100%	△
0.311	対基準		△2%			
ガソリン 使用量削減	L	21,938	21,499	19,435		
	kg-CO ₂	50,932	49,913	45,122	111%	○
2.32166	対基準		△2%			
軽油 使用量削減	L	45,076	44,177	36,819		
	kg-CO ₂	118,295	115,935	96,627	120%	○
2.62434	対基準		△2%			
II. 廃棄物の削減						
一般廃棄物 の削減	kg	942	896	842	106%	○
	対基準		△2%			
産業廃棄物 の適正管理	t	425	—	1,206	適正管理	○
	対基準		適正管理			
混合廃棄物 の節減	t	71	—	26.52	適正管理	○
	対基準		適正管理			
建設リサイクル率 の向上	%	96.8	90.0	98.4%	109%	○
	対基準		適正管理			
III. 水使用量削減	m ³	217	210	164	128%	○
	対基準		△2%			
IV. 環境配慮工法の施工	件	4	4	6	150%	○
	対基準		100%以上			

注1) 達成度欄にて、削減を目指す場合は、達成度＝目標÷実績×100%、増加を目指す場合は、達成度＝実績÷目標×100%

注2) 評価欄にて、○：達成（100%以上）、△：やや未達成（95%～100%未満）、×：未達成（95%未満）

注3) 環境に配慮した施工とは、騒音、振動、粉じん、道路の汚れ、水の汚れなどを防止し、廃棄物適正処理・使用資材の削減・3Rに努め、付近住民の生活に配慮した工事を言う。

6. 環境経営計画及び取組結果と その評価、次年度の環境経営計画



◎よくできた ○まずまずできた △あまりできなかった ×全くできなかった

取り組み計画	達成状況	評価結果と次年度の環境経営計画
二酸化炭素排出量の削減 (目標達成)		
(下記の通り)	○	(下記の通り)
電力使用量の削減 (目標やや未達成)		
・空調温度の適正化 (冷房28℃暖房20℃)	△	朝礼前は必ず窓を開けて空気を入れ替えている。極力窓を開放し、空調の使用を最小にした。しかし今期も猛暑で外気温が35℃を超える日が多くあり、仕事の効率から考えると25℃は効率が上がっている。目標達成率は99.8%である。
・照明器具の省エネ化	◎	全社の照明器具をLEDである。また、トイレ等の照明スイッチを感知式に替えている。
・不要照明の消灯	◎	外出時のデスク上の不要照明の消灯を徹底した。昼休みや外出時など照明不使用時にはしっかりと対応している。
ガソリン使用量の削減 (目標達成)		
・アイドリングストップ	◎	基本アイドリングはしていない。
・急加速・急停車の防止	◎	「無事故無違反運動チャレンジ100」運動に毎年参加しており、今期も2チームが達成、安全運転を推進している。
・効率的な移動	○	高速道路保全工事は、現場への経路は決められており、無駄な遠回りの走行はない。
軽油使用量の削減 (目標達成)		
・作業中の車両のエンジンストップ	◎	弁当の腐敗防止と熱中症対策、使用材料の適正温度管理のための冷暖房以外の車両は、エンジンストップを原則としている。
・アイドリングストップ	◎	アイドリングストップを実施している。
・空気圧、オイル等の点検	○	給油時に月1回以上実施するように徹底している。また、車両管理日報を乗車時に記載している。職員の中で前職が車両整備士が2名在職しており、車両点検を担当させ、終礼後車両を点検している。
・軽油発電機の使用の節減	○	現場条件が許す限り、仮設電力設置により軽油発電機の使用をやめている。
・燃費効率の良い車両の切替	○	事業量の増加に伴う軽油の削減は、燃費効率の良い車や化石燃料車以外の車に切替しかなく、これを推進するためリースや買替を可能な限り進めている。今期は台新車に買替した。
一般廃棄物の削減 (目標達成)		
・ペーパーレス化の推進	○	新型コロナウイルスパンデミック以降、定例会議をウェブ会議に変え、必要資料はサーバーの共有ホルダーに置き、それを必要とする者のみダウンロードすることとした。原則各種社内会議でのペーパーレス化で資料配布はしない方針である。メーカーパンフレットは、Webで閲覧する。
・分別の徹底	○	木切れ・石膏ボード・混合廃棄物・鉄くず・コンクリート殻と大きく5種類に分別している。今後も正確な排出量を把握しながら、削減に努める。西事業では、ジュースの空き缶を、アルミ・鉄・ペットボトル、その他のごみを燃えるごみ・燃えないごみに分別している。

取り組み計画	達成状況	評価結果と次年度の環境経営計画
<u>産業廃棄物の適正管理</u>		<u>(目標達成)</u>
・ 適正管理の徹底	◎	マニフェストを活用し、正確な排出量を把握している。
・ 産廃ボックスの設置	◎	以前から分別しており、状態を把握している。
・ 保管場所の掲示板を設置	◎	常設箇所は設置済みである。新規受注した現場に産廃ボックスを設置するときも、法に基づき掲示板を設置している。
<u>建設リサイクル率の向上</u>		<u>(目標達成)</u>
・ 分別によるリサイクル推進	○	一般廃棄物及び特定建設資材廃棄物の分別を実施しており、リサイクル率の向上を指導している。
・ 手持ち資材の有効活用	○	使用可能な残材を保存し、創意工夫でそれを活用し建設資材の低減に取り組んでいる。
・ 仮設資材の再利用の推進	○	原則再利用している。また、在庫資材を仮設材と使用するよう創意工夫を推進している。
<u>混合廃棄物の削減</u>		<u>(目標達成)</u>
・ 分別の徹底	○	リサイクルできるものを廃棄しないよう推進すると共に、リサイクルの意識向上に努める。
・ 資材の適切な管理と使用	○	残数量の削減の推進及び残資材の有効利用を考える。資材の在庫管理を明確にする。
<u>環境配慮した工法の施工</u>		<u>(目標達成)</u>
・ 工事の創意工夫を実施	◎	工事の創意工夫を実施することで、環境に良い段取り、工法、資材の調達等を実施する。
<u>地域美化活動</u>		<u>(目標達成)</u>
・ 行政の制度に参加	◎	「ひめじ街路樹アダプト制度」「まちかど100mクリーンアクション」に参加し、毎週本社周辺の道路美化活動をし行く。
・ 業界の活動に参加	◎	建設業協会の支部一斉清掃に参加していく。

7. 環境関連法規等の遵守状況の評価の結果



法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである。

適用される法規制	遵守する事項	遵守評価
廃棄物処理法	保管基準の遵守、収集運搬・処分業者との適正な契約、マニフェストの交付・保存・確認・交付状況等報告書の提出、産業廃棄物処理計画及び実施計画書の作成・提出	遵守
建設リサイクル法	建築物等の分別解体義務、事前届出 特定建設資材廃棄物の再資源化義務	遵守
建設業の再生資源利用省令	再生資源、建設工事副産物の再利用 再生資源利用計画書、実施記録の作成	遵守
大気汚染防止法	特定粉じん排出等作業の実施の届出（R3/4/1施工期日） a. 事前調査及び調査結果の書面説明 b. 事前調査結果の記録作成・保存（3年）（施工期日R4/4/1） c. 知事への報告 d. 下請負人への説明 e. 事前調査結果の掲示 f. 作業記録の作成・保存（作業終了日から3年）	遵守
自動車NOx・PM法	規制対象車両の登録禁止 規制対象車両の指定地域通行禁止	遵守
騒音規制法	特定建設作業の届出、規制基準の遵守	遵守
振動規制法	特定建設作業の届出、規制基準の遵守	遵守
姫路市公害防止条例	特定建設作業の届出、規制基準の遵守	遵守
オフロード法	基準に適合した特定特殊自動車の使用	遵守
低騒音・低振動型建設機械の規定	低騒音・低振動型建設機械の使用の促進	遵守
消防法	（防火対象物）防火管理者の届出、消防計画の作成、避難訓練の実施、消火設備・火災警報設備の点検整備、避難設備の維持（危険物取扱所）設置許可、技術基準の遵守、危険物保安監督者の届出、定期点検の実施と記録の保存	遵守
姫路市火災予防条例	火災発生の恐れのある機器の取扱基準の遵守、指定数量未満の危険物・可燃物の貯蔵の届出及び技術基準の遵守、	実績なし
フロン排出抑制法	フロン類使用機器の定期点検とその記録の3年保存、漏洩防止、廃棄時の適切な処理（フロン回収義務）	遵守

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等是一部未作成のものがありましたが、その他は遵守されていることを確認しました。
なお、環境法規制等への違反、訴訟、環境上の苦情等は、過去3年間ありませんでした。

8. 代表者による全体の評価と見直し



今期における経営環境は、依然収まる気配のないロシア・ウクライナ戦争や中東での緊張などによるエネルギー価格の高騰、円安基調による輸入品の価格上昇、国内において平均賃上げ率が5%以上となり中小企業において非常に厳しい経営環境であった。

そのような状況下、弊社では二酸化炭素排出削減の為、環境経営計画に則って行動した結果ほぼ目標を達成できたことはよかったと思います。社員の環境問題の対する理解が進んだものと思われます。

第67期の方針・計画・体制は引き続き同じとしましょう。

2024年 10月 21日

代表取締役 堀 江 一 雄

9. 環境への取組の紹介

様式：3-01（3.環境経営方針の策定）

品質・環境経営方針

1. 顧客の信頼と満足を得て地域に貢献する。
2. 品質活動を通じ、環境取組により環境負荷の低減を推進する。
3. 品質活動と環境活動の有効性の継続的に評価し改善を行う。

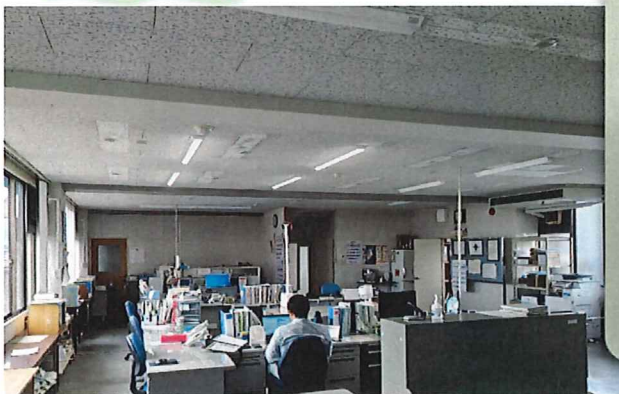
2023 年 11 月 1 日
株式会社ホリエ
代表取締役 堀江 一雄

品質・環境経営目標

1. 建築部は、創意工夫を行い現場に役立てると共に、環境にやさしい施工を行うことで、二酸化炭素の節減を推進し、目標の利益を達成する。
2. 土木部は、無事故・無災害で顧客の信頼を得ると共に、軽油の使用を管理し二酸化炭素の節減を推進し、目標の利益を達成する。
3. 総務部は、顧客管理を確実にして、その動向を常に把握すると共に、電気の使用を管理し二酸化炭素の節減を推進する。
4. 環境関連法規制や当社が約束したことを遵守する。
5. 二酸化炭素排出量の削減を推進します。
6. 廃棄物の削減を推進する。
7. 建設現場等での建設リサイクル、再生資源の利用を推進する。
8. 水使用量の削減を推進します。
9. 化学物質の適正な管理を実施します。
10. 建設業協会主催の地域美化活動への参画を年1回行う。

2023 年 11 月 1 日
建築部 部長 改発 義博
土木部 部長 堀江 脩

節電

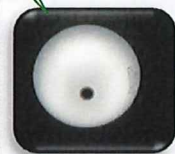


昼間の本社事務所内節電
不必要な個所は消灯

冷房は28℃
暖房は20℃



自動感知



LED電灯



産廃分別



使用済み
乾電池入れ

資材区別



節 水



整理整頓

本社倉庫



御国野倉庫



高圧ガス



整理整頓



姫路西事業所



清掃奉仕

- ・ひめじ街路樹アグト精度
- ・まちかど100mクリーンアクション制度



建設業界の方と
清掃奉仕



会社周辺清掃

web会議



教育

若手教育



土木会議



